

〈NGO・外務省定期協議会 2022 年度第 3 回 ODA 政策協議会 議題案／質問状記入シート〉

1. **議題案名**:

2023 年 G7 広島サミットに向けた市民社会の活動

2. **議題の背景**:

2023 年 5 月 19-21 日、広島において G7 サミット(主要国首脳会合)が開催される。G7 サミットは、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの 7 か国に加えて欧州理事会議長および欧州委員会委員長が参加して、毎年開催される国際会議である。首相官邸ウェブサイトによれば、「G7 サミットでは、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有する G7 首脳が一つのテーブルを囲みながら、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題について、率直な意見交換を」行うことになっており、日本での開催は、2023 年が 7 回目となる。

G7 サミットに幅広い社会の声を反映させるための仕組みとして、エンゲージメント・グループが設置されている。2021 年の G7 エルマウ・サミット議長を務めたオラフ・ショルツ首相は、7 つのエンゲージメント・グループが主催する各サミットに出席し、対話を行った。首脳会合で採択されたコミュニケ(首脳宣言)においても、「ドイツ議長国の下、市民社会との関与と交流は、民主主義国のグループとしての G7 にとって有益であった。このため、我々は、G7 のエンゲージメント・グループである B7(ビジネス)、C7(市民社会)、L7(労働)、S7(科学)、W7(女性)及び Y7(若者)による、我々の討議に対する重要なインプットに感謝する」と言及されている。

2023 年の C7 は、2022 年 5 月に設立された「G7 市民社会コアリション 2023」が運営を担当する。

G7 首脳コミュニケ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100376624.pdf>

3. **議題に関わる問題点(議題に上げたい理由)**:

・2022年の議長国であったドイツ政府は、同年1月21日に「2022年ドイツG7議長国期間における優先政策(Policy Priorities for German' G7 Presidency in 2022)と題された12ページにわたる文書を発表し、5つの優先課題として「1.持続可能な地球に向けた強固な連携」、「2.経済的安定と変革に向けた道筋の設定」、「3.より健康な生活に向けた準備の強化」、「4.より良い未来への持続可能な投資」、「5.ともにつよく」を掲げていた。

<https://www.g7germany.de/resource/blob/998352/2000328/197be81a1581e488d29450128aa4065f/2022-01-21-g7-programm-en-data.pdf?download=1>

・2021年の議長国であったイギリス政府は、同年1月23日に「英国はコーンウォールでG7サミットを主催する(UK to host G7 Summit in Cornwall)」と題した発表を行い、新型コロナウイルスへの対応や公平で環境に配慮した社会への移行などを議論し、ゲスト国(オーストラリア、インド、韓国)を招待することを明らかにしていた。

<https://www.gov.uk/government/news/uk-to-host-g7-summit-in-cornwall>

・一方、議題提案の時点で、G7広島サミット公式ホームページには、総理メッセージが掲載されているのみであり、サミットの主要議題の公表時期も明らかにされていない。エンゲージメント・グループとしてG7に対して政策提言を実施するにあたり、G7広島サミットの主要議題を確認したい。

・エンゲージメント・グループとして、サミットへの政策提言だけではなく、議題形成の段階から意見交

換を実施したいと考えているが、将来のサミット開催に向けた外務省側の意向について伺いたい。

4. 外務省への事前質問(論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係などがあれば)：
・G7 広島サミット公式ホームページ(<<https://www.g7hiroshima.go.jp/>>)にエンゲージメント・グループを紹介するページが見当たらないが、その理由は何か。参考までに、ドイツ政府やイギリス政府が議長国を務めたサミットでは該当ページが存在し、また、各エンゲージメント・グループ主催のサミットへの出席やスピーチ内容も公開されている。

Civil 7 Summit Joint efforts for an equitable world

<https://www.g7germany.de/g7-en/news/g7-articles/civil-7-2037418>

5. 議題の論点(定期協議会の場で主張したいことや、外務省に聞きたいこと)：
・G7 市民社会コアリション 2023 が事務局を務める「C7」では、「気候・環境正義」、「公平な経済への移行」、「国際保健」、「人道支援と紛争」、「しなやかで開かれた社会」、「核兵器廃絶」の6つのワーキンググループを設置し、世界中の市民社会組織関係者が参加して政策提言書作りを進めている。2023年4月13日(木)・14日(金)に東京都内で開催予定のC7サミットにて政策提言書を発表する。C7サミットでは、各ワーキンググループによるセッションや関連課題を取り扱う分科会の開催も予定されている。
・また、広島の市民社会関係者5名が呼びかけ人となり、「G7 広島サミットへの対話・提言を通して、『核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会づくり』を推進すると共に、私たち市民社会組織の声を社会化する力を高める」ことを目的として、4月15日(土)から17日(月)にかけて「G7 広島市民サミット(仮称)」の開催を予定している。1月から3月にかけて、一般参加も可能な企画ミーティングも行われる。
・上記の活動をより効果的に行うためにも、G7サミットに向けて、エンゲージメント・グループと日本政府との対話の場を確保していただきたい。特に、シェルパ会合にて各国シェルパと直接やりとりができる機会の確保をお願いしたい。
・C7サミットにG7議長である岸田文雄総理大臣に出席していただき、C7政策提言書を手交したい。

- 氏名：堀内葵
- 役職：共同事務局
- 所属団体：G7 市民社会コアリション 2023

以上